

第 3 4 回 青梅市公共交通協議会

基本計画推進状況について

1. 市広報紙による公共交通の利用促進について
2. 公共交通ガイドの更新について
3. 事業所におけるMMIについて

令和2年7月2日

1. 市広報紙による公共交通の利用促進について

広報おうめに、公共交通に関する以下の啓発記事を掲載した。

バス停	時刻
立川駅北口	1:20
拝島駅	1:40
熊川駅	1:44
牛浜駅入口	1:46
福生市役所	1:47
福生駅西口	1:51
福生消防署	1:52
神明台1丁目	1:56
羽村駅東口	1:59
羽村市役所	2:01
小作駅東口	2:05
河辺町7丁目	2:08
河辺駅北口	2:17

年末の深夜バスが増便されます
 日程 12月20日(金)、27日(金)
 ページ参照
 問い合わせ 西東京バス
 対象路線(名称) 立川
 青梅営業所 ☎32・06
 〓 河辺線(楽帰い)
 運賃 西東京バスホーム
 課 21、都市整備部管理



初日の出は御岳山へ
 〓JRは終夜運転します〓
 東京スカイツリーや新宿副都心の高層ビル群まで見通せる御岳山。幻想的な夜景、漆黒の中に浮かぶ星空、そして輝かしい初日の出を、ぜひご覧下さい。JRでは臨時電車(立川駅発御嶽駅行き)を運行します。
 ※青梅駅〓御嶽駅間は途中停車しません。

駅名	発着時刻		
	①	②	③
立川駅発	2:18	3:10	4:02
河辺駅発	2:43	3:35	4:27
青梅駅発	2:48	3:40	4:32
御嶽駅着	3:04	3:56	4:48

※この電車に合わせ、御嶽駅から臨時バス、御岳登山鉄道滝本駅からはケーブルカーが運行されます。
 ●初日の出オススメスポット:富士峰園地大展望台休憩所、武蔵御嶽神社、日の出山
 ※山道は暗いのでライトの準備を!
 問い合わせ ケーブルカー:御岳登山鉄道 ☎78・8121、バス:西東京バス氷川車庫 ☎83・2126

「広報おうめ」12月15日号(42,400部印刷発行)

配布方法:新聞折込 31,800部、個別配達 5,100部、残部は公共施設、駅やスーパー等で配布

2. 公共交通ガイドの更新について

昨年度作成した公共交通ガイドについては、土日の時刻掲載や文字サイズ改善等により、これまでたびたび寄せられていた体裁に関する苦情がなくなった。

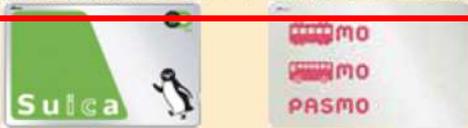
今年度の公共交通ガイドについては、以下の箇所の修正を行った。

- 11 ページICカードの利用案内に購入できる場所を明記

ICカードの利用案内

▶ **ICカードとは？**
鉄道やバスの運賃や買い物の支払いに使えるカードです。Suica や PASMO があります。

Suica は JR 青梅駅・東青梅駅・河辺駅・小作駅で、PASMO は都営バス青梅支所・西東京バス青梅営業所・西武バス飯能営業所でそれぞれ購入できます。



▶ **電車やバスに乗る**
財布等に入れたままタッチするだけで、切符を買ったり現金を数える手間がありません。また、相互利用を行う全国の路線でも利用できます。

▶ **買物する**
ICカード内のお金を電子マネーとして使えます。対応している駅の売店やコンビニ、スーパー、自販機などでの買物に利用できます。
ICカードへのお金の追加（チャージ）は、駅やバス車内、コンビニ等でできます。

- 3 ページ路線図「急行 東青梅駅南口～河辺駅南口」の「～」を「→」に変更、あわせて路線図の点線に沿って「→」を記載
- 3 ページ路線図「小 02・03」の三ツ原工業会館と昭洋工業の間に進行方向を示す矢印を記載
- 3 ページ路線図「梅 70」の停留所「西多摩保健所」を「師岡町三丁目」に変更



3. 事業所におけるMMについて

① 三ツ原工業会との協議

本年 2 月 6 日に、三ツ原工業会役員会でお時間をいただき、以下の2つについて協議を行った。

1) 昨年 10 月に 2 社を対象に行った事業所MMの取り組み(事前アンケート)の紹介

- 前回公共交通協議会に記載した内容と同じ

2) 西東京バスから、三ツ原循環線の現状と今後に向けた課題について

- 若者の免許離れや生産年齢人口の減少から、乗務員が著しく不足している。
- 西東京バスの 5 営業所の中でも、青梅営業所の収支が良くない状況で、ほとんど赤字路線となっている。
- 特に三ツ原循環線は青梅営業所の主力路線であるが、2016 年をピークに収支が下がり続けており、今年度は見込みよりさらに低い状況となっている。
- このままいくと、さらに減便や値上げをせざるを得ず、サービス低下と利用者減少の悪循環となる。
- 利用者が減っている原因や見直すべき点(バス停位置、運行時間)など、思い当たることがあればあげてほしい。

② 事後アンケート実施内容

- 青梅市三ツ原工業団地において、令和元年10月末にMMを実施した2社を対象に事後調査を実施した。
- 従業員に向けて、通勤時の交通手段や公共交通に対する問題意識について事後アンケートを行った。

【配布物件】

- お願い状
- アンケート
- クリップペンシル

【事後アンケートの実施】

- 配布方法:事業所ごとに一括で郵送配布・郵送回収
- 調査時期:令和2年2月
- 調査対象:対象事業者の全従業員

■手順書(各社担当者向け)

〇〇株式会社 〇〇 様

公共交通利用促進アンケート(事後)の配布・回収についてのご案内

公共交通利用促進アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

アンケートの配布・回収については、お手数をおかけして大変恐縮ではございますが、以下の手順での実施をお願い申し上げます。

なお、ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

(1) 従業員の方への配布物件について

- ・同封の淡いグリーン封筒に入った1セットが、1名様分の配布物件です。
- ・中身は①お願い状、②アンケート、③クリップペンシルです。

(2) アンケートの回収・発送

- ・回収されたアンケートは、同封の回収用封筒(切手付き、ライテックの社名入りのもの)に入れて、ご送付ください。

(3) アンケートのスケジュール

2月													
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
配布物件の到着	配布 →					記入・回収 →			回収アンケート発送				火 燃 ライテック到着

【お問合せ先】

- ・アンケート内容に関するお問合せ

(調査委託事業者) 株式会社ライテック 社会・公共ソリューション部第一課 袴田

TEL : 03-5227-1864 Mail : reply_que@litec.co.jp

- ・調査実施に関するお問合せ

青梅市公共交通協議会事務局 青梅市都市整備部管理課 河村

TEL : 0428-22-1111 (内線 2579)

以上

■お願い状

公共交通の利用促進アンケート（事後）への ご協力をお願い

先日は、青梅市の通勤における公共交通利用促進の取り組みにご協力いただき、ありがとうございました。

再度、前回アンケート後の「普段の通勤」や「普段のクルマの使い方」について、アンケートへのご協力をお願いいたします。

「公共交通の利用促進アンケート」は今回で終了です。

引き続き、市内の公共交通利用促進にご協力をお願い申し上げます。

令和2年2月

青梅市公共交通協議会

■ お願いしたいこと

- ・前回のアンケートをご回答いただいた後の通勤時の利用交通をお振り取りいただき、アンケートのご記入をお願いいたします。

■ アンケート提出について

- ・2月20日（木）までに御社のご担当の方へお渡しください。
- ・A3のアンケート用紙のみ、ご提出をお願いいたします。

【お問合せ先】

- ・アンケート内容に関するお問合せ
（調査委託事業者）株式会社ライテック 社会・公共ソリューション部第一課 袴田
TEL：03-5227-1864 Mail：reply_que@litec.co.jp
- ・調査実施に関するお問合せ
青梅市公共交通協議会事務局 青梅市都市整備部管理課 河村
TEL：0428-22-1111（内線2579）

以上

■アンケート(A3)

通勤の交通手段に関するアンケート【事例】

問1 現在、どの交通手段を、どれくらい利用して、通勤していますか？
記入例を参考に①～⑥の交通手段すべてについて、ご回答ください。

記入例	月	週	3日程度	通勤している
① 鉄道、 や バスを 使って、	<input type="checkbox"/> 月に	<input checked="" type="checkbox"/> 週に	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 通勤している
② だけを 使って、	<input type="checkbox"/> 月に	<input type="checkbox"/> 週に	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 通勤している
③ (運転) を使って、	<input type="checkbox"/> 月に	<input type="checkbox"/> 週に	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 通勤している
④ (同乗) を使って、	<input type="checkbox"/> 月に	<input type="checkbox"/> 週に	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 通勤している
⑤ だけを 使って、	<input type="checkbox"/> 月に	<input type="checkbox"/> 週に	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 通勤している
⑥ だけを 使って、	<input type="checkbox"/> 月に	<input type="checkbox"/> 週に	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 通勤している

問2 前回の「通勤の交通手段に関するアンケート」に
回答しましたか？

問3 前回のアンケートでクルマを少しでも利用（運転または同乗）して通勤されていた方
お聞きします。

① 前回のアンケートが、現在、青森市が進めている
公共交通の利用促進に関するものであったことを
覚えていますか？

② 前回のアンケートは、普段の通勤方法を再見直すきっかけになりましたか？

全くきっかけにならなかった
 少しきっかけになった
 きっかけになった
 とてもきっかけになった

理由をお聞かせください。（複数選択可）

通勤時間が増加するから
 勤務体制が不規則（交代制等）だから
 通勤時に鉄道やバスが運行していないから
 通勤時に他の用事（送迎等）があるから
 既に公共交通で通勤しているから
 その他 ※下枠内にご記入ください

③ 前回のアンケート以後、実際に「クルマ以外で
通勤しよう」とお考えになったことはありますか？

全くなかった →問5へ
 少しあった
 あった

④ クルマ以外での通勤は、どれくらいしましたか？

月に、
 週に、
 日程度

⑤ クルマ以外での通勤は、どのような交通手段を利用しましたか？
当ではまるものを全てお選びください。

クルマの代わりに、鉄道やバスで通勤
 クルマの代わりに、バイクだけで通勤
 クルマの代わりに、自転車だけで通勤
 クルマの代わりに、徒歩だけで通勤
 その他 ※下枠内にご記入ください

問4 地球温暖化対策のためには、クルマ利用はできるだけ減らした方がいいと思いますか？

全く思わない 少し思う 思う とても思う

問5 今後、公共交通の利用促進の取り組みを続けていこう（始めてみよう）と思いますか？

全く思わない
 少し思う
 思う
 とても思う

今後、公共交通を始める（始める）にあたって、何が要望は
ありますか？下枠内にご記入ください

問6 あなたご自身について、お答えください。

① ご自宅の郵便番号をご記入ください

ご自宅 〒 -

② ご自宅から会社までの距離（道のり）が
分かれば、ご記入ください。

ご自宅から会社まで 約 km

③ 普段、利用しているクルマの燃費が
分かれば、ご記入ください。

自動車の燃費は km/l

ご協力いただき、ありがとうございました。
ぜひ、これを機会に、できる範囲で、公共交通通勤や徒歩・自転車通勤に
お取り組みいただければ幸いです。

③ 事後アンケート結果

■ アンケート回収数

- 三ツ原工業団地の2社を対象とした事後アンケートは、計35名の方から回答いただいた。

表1 事後アンケートの回収状況

社名	配布数	回収数	回収率
A社	25	23	92.0%
B社	20	12	60.0%
合計	45	35	77.8%

■ 問1 通勤時の交通手段について

- 通勤時の交通手段は、「車(運転)」(26人)が最も多く、次いで「電車・バス」(6人)となっており、交通手段別に利用頻度をみると、「車(運転)」の「週5日以上」が71.4%と最も多く、日常、自分で車を運転して通勤している人が約7割となっている。

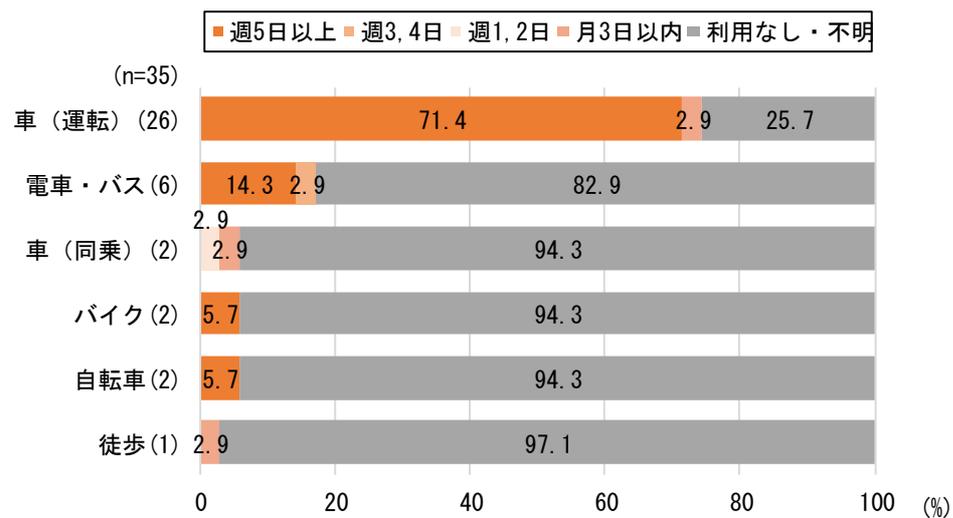


図1 通勤時の交通手段と利用頻度

- 週3日以上の通勤時の交通手段を事前アンケートと比較すると、自転車の割合が減少、公共交通の割合が増加している。



図2 週3日以上の通勤時の交通手段

■問2 事前アンケートの回答有無について

- 事前アンケートを回答した人は、91.4%となっている。

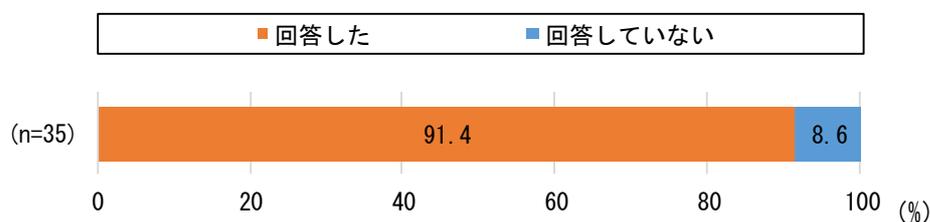


図3 事前アンケートの回答有無

■問3 事前アンケート後の通勤手段について(事前アンケート回答者のみ回答)

- 事前アンケートの内容が、市が進めている公共交通の利用促進に関するものであったことを覚えているかについては、「覚えている」が50.0%、「覚えていない」が43.8%となっている。

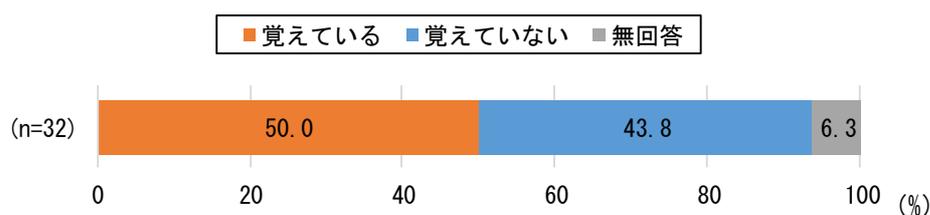


図4 事前アンケートの内容について

- 事前アンケートが、普段の通勤方法を見直すきっかけになったかについては、「全くきっかけにならなかった」が53.1%、「少しきっかけになった」、「きっかけになった」、「とてもきっかけになった」は合計で40.6%となっている。

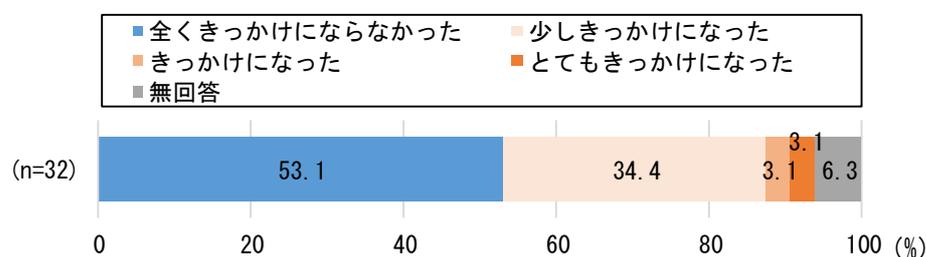


図5 事前アンケート後の通勤方法の見直し

- 「全くきっかけにならなかった」と回答した理由は、「通勤時間が増加する」が最も多く、12人となっている。

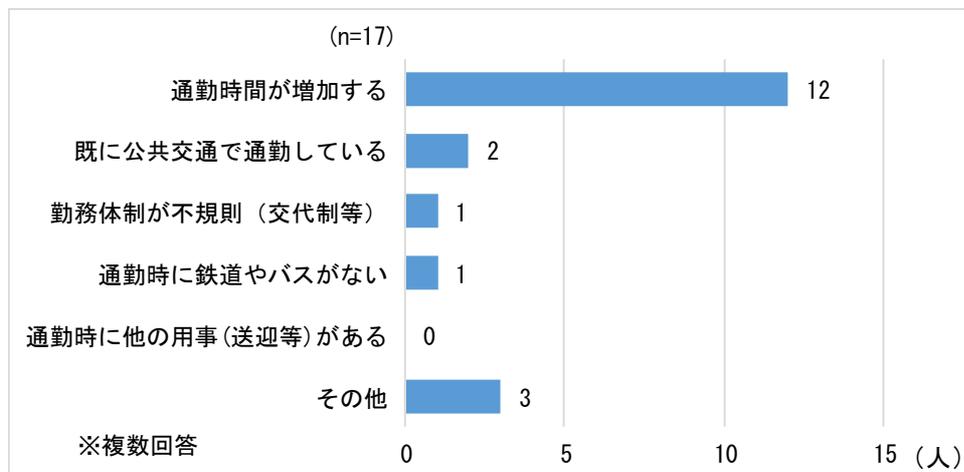


図 6 全くきっかけにならなかった理由

- 事前アンケート以後、実際に「クルマ以外で通勤しよう」とお考えになったことはあるかについては、「全くなかった」が 65.6%、「少しあった」、「あった」は合計で 18.8%となっている。

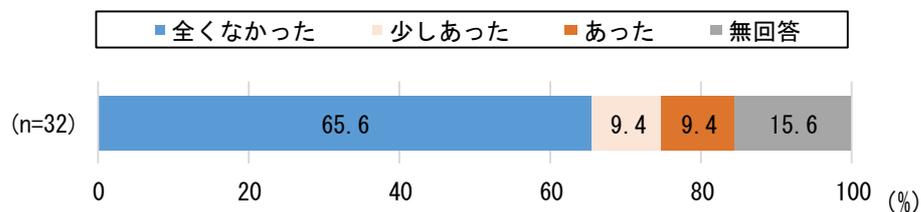


図 7 事前アンケート後のクルマ以外の手段での通勤について

- 「少しあった」、「あった」と回答した人のクルマ以外での通勤頻度は、「月 3 以内」が 3人となっている。

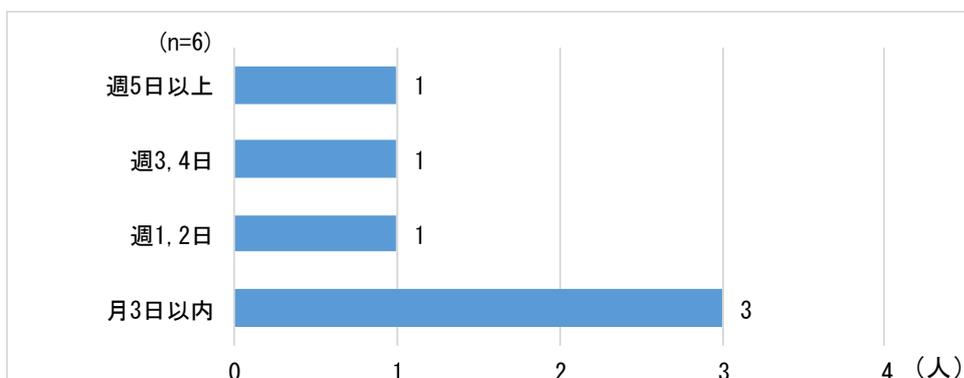


図 8 事前アンケート後に見直したクルマ以外の手段での通勤頻度

- 「少しあった」、「あった」と回答した人のクルマ以外での通勤手段は、「電車やバス」が3人となっている。

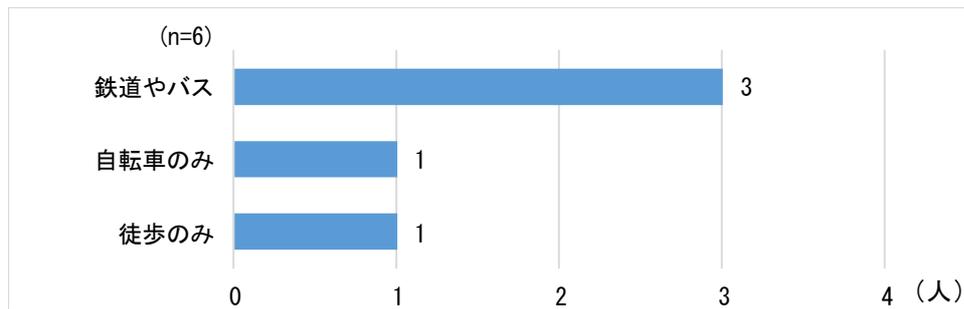


図9 事前アンケート後に見直したクルマ以外の通勤手段

■問4 地球温暖化対策(クルマ利用)について

- 地球温暖化対策のためには、クルマ利用はできるだけ減らした方がいいと思うかについては、「少し思う」が最も多く、42.9%となっている。

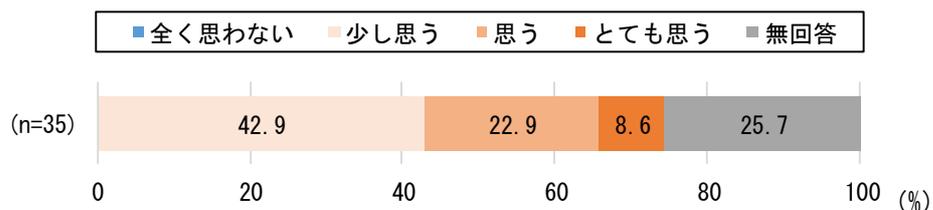


図10 クルマ利用の削減について

■問5 今後の公共交通の利用促進の取組意向について

- 今後、公共交通の利用促進の取り組みを続けていこう(始めてみよう)と思うかについては、「少し思う」が最も多く48.6%となっており、「思う」、「とても思う」と合わせて取組意向のある人は60.0%となっている。
- 事前アンケート時と比較すると、「全く思わない」とした人は、41.9%から31.4%となっており、10.5ポイント減少している。

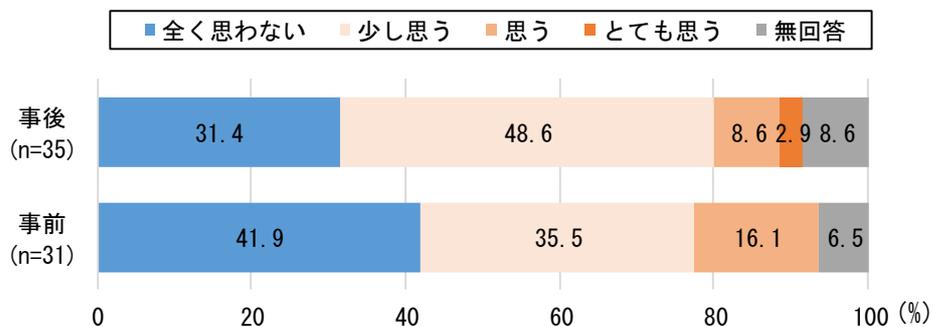


図11 徒歩や自転車または電車やバス通勤の実践について

■問6 回答者の居住地などについて

- 回答者の自宅から会社までの距離(道のり)は、4～6 kmの8人が最も多く、次いで2～4 kmの6人が最も多くなっている。

表2 回答者の居住地

距離	町名(市外は市/町名)	回答数
2km以内	大門、新町	3
2～4km	新町、河辺町、東青梅、羽村市	6
4～6km	河辺町、東青梅、長淵、駒木町、羽村市、瑞穂町	8
6～8km	塩船、長淵	5
8～10km	千ヶ瀬町、長淵、梅郷、柚木町、昭島市	5
10～15km	富岡、福生市	2
15～20km	日高市	1
20km以上	立川市、八王子市、狛江市	3

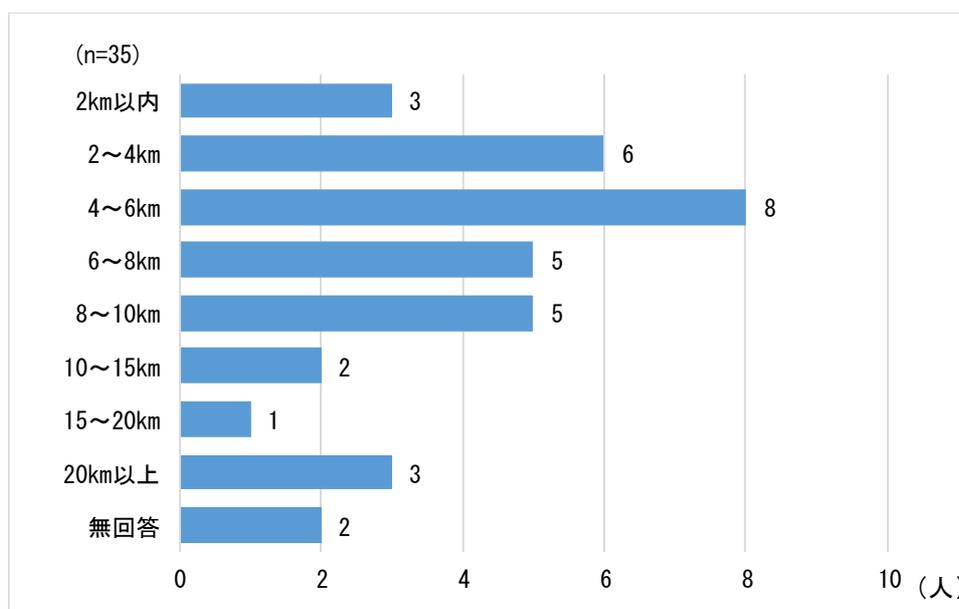


図12 回答者の自宅から会社までの距離(道のり)

- 回答者の自宅から会社までの距離(道のり)別に週3日以上利用している交通手段をみると、10 km以内では「車(運転)」が多く、10 km以上では「電車・バス」が多くなっている。

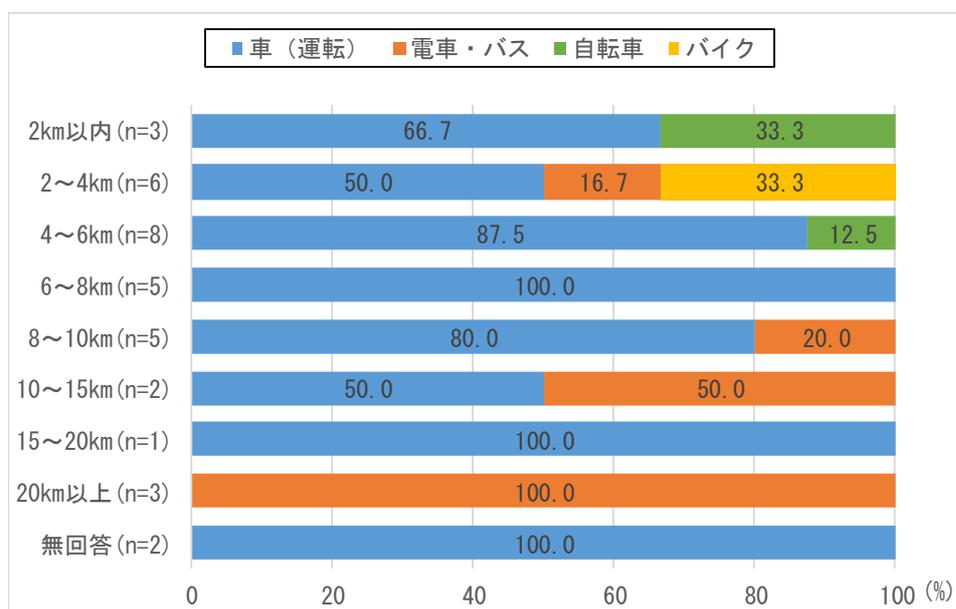


図 13 回答者の自宅から会社までの距離(道のり)別交通手段

- 問3でクルマ以外での通勤に転換した人の通勤頻度、通勤距離、燃費からCO₂削減量を算出すると、今回実施したMMにより削減されたCO₂排出量は187.1(kg-CO₂/km)となっている。

表 3 今回実施したMMにより削減されたCO₂排出量

No.	月当たり通勤日数(日)	片道通勤距離(km)	車の燃費(km/l)	1 kmあたりCO ₂ 排出量(kg-CO ₂ /km)	削減されたCO ₂ 排出量(kg-CO ₂ /km)
1	20	15.0	10.0	0.23	139.2
2	12	8.0	13.0	0.18	34.3
3	4	5.0	13.0	0.18	7.1
4	1	10.0	11.0	0.21	4.2
5	1	6.0	20.0	0.12	1.4
6	1	2.0	10.0	0.23	0.9
合計					187.1